

ハスの実だより

社会福祉法人
ハスの実の家
6 月号
2020 年・No. 468

〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2 TEL (0776)78-6743 FAX (0776)78-6744 Eメール honbu@hasunominoie.com

笑顔で コロナを 吹き飛ばそう!



主な記事

- 2 ★すくらむ
- 3 ★なかまのページ
- 4~5 ★特集記事：(地域支援センター ハスの実開設)
- 6 ★家族のページ
- 7 ★職員のページ 植原 哲平 小島 理恵
- 8・9 ★後援会会計報告

- 10 ★ハスの実の会 2020 年度方針・役員・担当表
- 11 ★今月のにやりホット
- 12 ★ムーブ
- 13 ★物品深謝 ★ご寄付深謝
★お知らせ等
- 14 ★読者クイズ ★あとがき



あくらむ



この度は、「地域生活支援センターハスの実」を開設されたこと、心よりお祝い申し上げます。障害のある方の生活の場が広がることを大変喜ばしく思っております。

さて、近年、障害のある方の親の高齢化や長期入院者の地域移行が課題となっており、今後グループホームや短期入所の利用は増加していくことが考えられます。

このような状況の中、当市の障害福祉計画では「生涯を通して健やかに生きる」を基本理念としております。障害の有無にかかわらず、お互いが人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会を実現するためには、地域生活支援事業を推進することが大変重要であり、今後ますます強化を図る必要があると考えております。

また、新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大をしましたが、福祉サービスを最前線で提供されている貴法人の

感染拡大の防止対策のご尽力に対し、深く敬意を表します。本市の対策につきましてもご理解とご協力を賜りこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

祝 御開設
「地域生活支援センター ハスの実」

あわら市長 佐々木 康男

この先、予断をゆるさない状況になることも予測されますが、このような状況にこそ、障害者の権利を擁護し、各種福祉施策の充実を図る分岐点とする必要が

あると考えております。さらには、誰もが夢や希望を持ち笑顔で元気に暮らす「誰もがときめくあわら市」の実現に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びになりますが、「ハスの実の家」の今後ますますのご発展と関係者の皆様の健康とご多幸を祈念申し上げ、地域生活支援センターの開設にあたり、お祝いの言葉とさせていただきます。



ながまみ
ボード



らし
ユニットホーム～
～





～歩みたい あなたとともに～



あたりまえの生活を支える拠点として

地域生活支援センター ハスの実 センター長 上出 日出幾

その人らしいあたりまえの生活をおくるためには、障害がある人もそうでない人も、平等に選択できるだけの暮らしの場・働く場・活動する場が多様に用意されなければなりません。ハスの実の家では、地域の様々なニーズに積極的にこたえる事業の拡大を進め、「あたりまえの暮らし」に加え、「その人らしさ」に寄り添う実践を展開してきました。

障害のある仲間の一人ひとりの願いにそってグループホームを開設し、生活の場の拡大とまちなかへの展開を積極的にすすめてきたことで地域との連携が大きく広がりました。しかし、残されたニーズや課題にはまだ十分対応できておらず、それらを総合的につなげる機能も十分働いていないのが現状です。例えば介護する親の高齢化が進み、家族の深刻な介護負担や親亡き後を心配する声がとても多い実態もみられ、早急に地域における支援策の必要性を感じています。

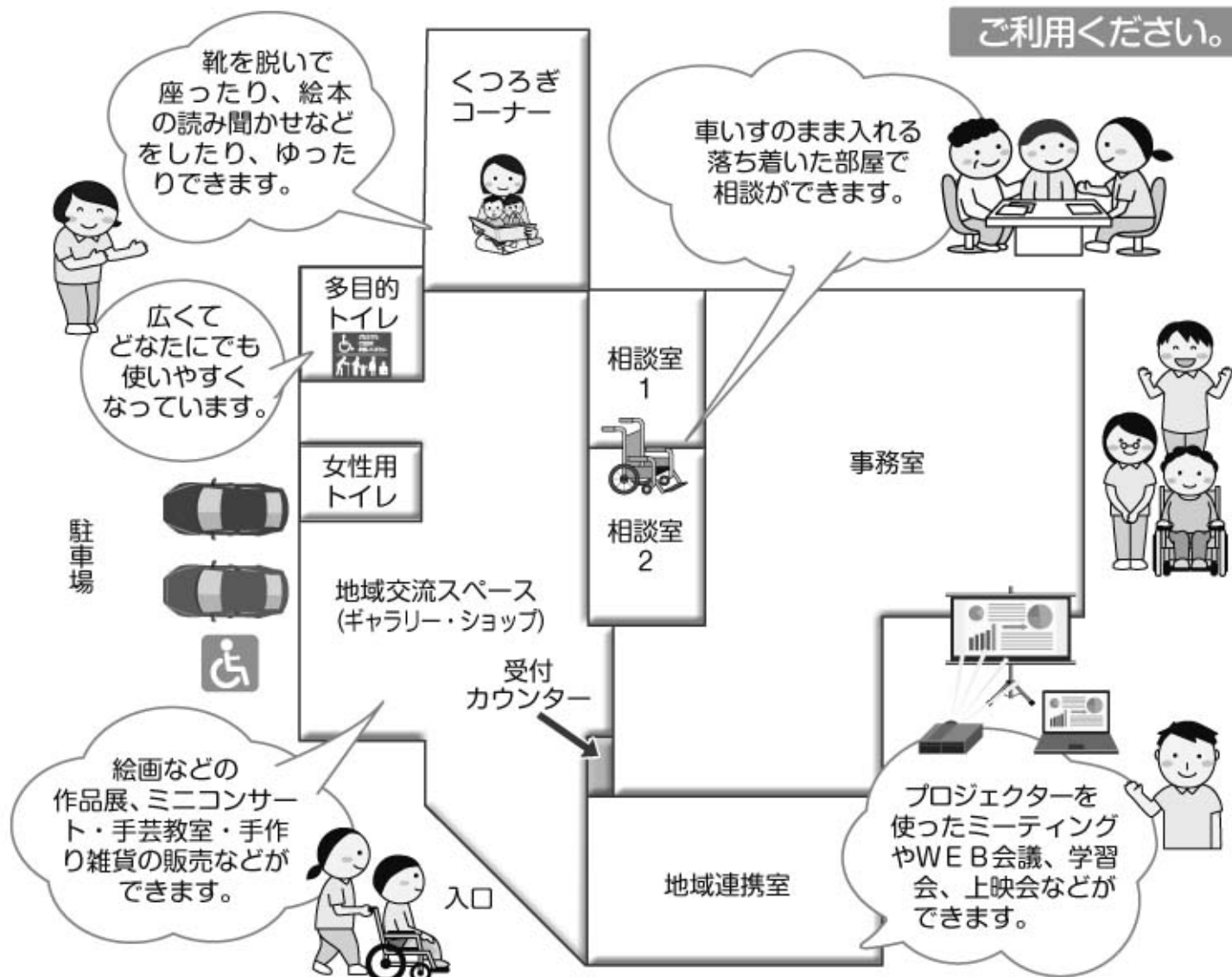
そこで今回開設した地域生活支援センターを拠点として、これまで以上に地域にあるいろいろな社会資源と連携して、地域ぐるみで総合的に支援していきたいと考えています。さらに専門性を磨きながら、多様な課題に支援を提供できる体制づくりをめざしていきます。

「地域生活支援センター ハスの実」の開設にあたり「歩みたい あなたとともに」というスローガンを掲げました。これまで以上に、多くの皆様の想いや願いに寄り添いともに歩んでいく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

尚、お近くにお寄りの際にはぜひお立ち寄りください。また、地域資源の一つとして当センターを活用するご提案も頂ければありがたく存じます。

「地域生活支援センター ハスの実」開設

ご利用ください。

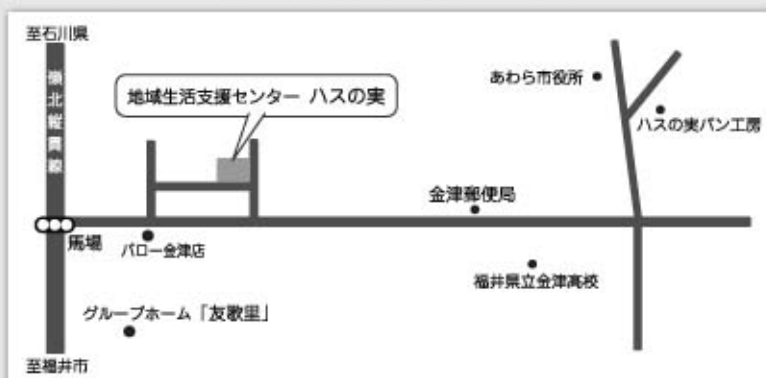


地域生活支援センター 事業内容

- 「相談支援事業所 ハスの実」
一般相談支援
(地域移行支援・地域定着支援)
特定相談支援
障害児相談支援
- 「ハスの実ヘルパーステーション ともに」
居宅介護事業
行動援護事業
移動支援事業
訪問介護事業
- 「まちなかホーム事務所」
共同生活援助事業
短期入所事業

「地域生活支援センター ハスの実」 ～歩みたい あなたとともに～

所在地：〒919-0628 福井県あわら市大満 2 丁目 25 番 1
電話：(0776)73-3100 FAX：(0776)73-3122
Eメール：center@hasunominoie.com
HP：http://www.hasunominoie.com



家族のページ ～仲間への想い～



笑顔の成人式



幼い頃の真琴さん

一緒に作って
いこうね。
真琴カラー

お母さんより

丸山一代さん
(真琴さん母)

食品加工班でお仕事させていただいている真琴です。現在22歳。5人兄弟の4番目です。下の弟とは12歳離れています。が、なかなか大人になれず張り合っただけです。

最近では小さかった弟も小学4年生になり、口でも体力でも真琴は大分脅かされてきています。そんな真琴に今まで無かった【自分の部屋】を現在準備中です。お兄ちゃんが使っていた部屋を空けてもらい6畳一間の自分の空間です。まだ、真琴の物が一つ無いからか【自分の部屋】になる自覚が無く他人事のようにしていますが、少しずつ一緒に【真琴カラー】にしていけたならいいなと思っています。後は【自分の部屋】をどこまで維持していけるかです。そこも一緒に掃除の仕方や整頓の仕方など練習していけたらいいなと思っています。月1回のショートステイでの経験と合わせて一歩ずつ社会人として色々な事を身に付けていって欲しいと願います。

兄弟の中で、もまれながら育った真琴です。暫くは末っ子みたいな環境だった

から大切にされていたらけれど、下が存在することで今までお兄ちゃん、お姉ちゃんも味わってきた色々な事を感じる事となり理不尽な思いもしているかも知れません。十分にたくましい真琴ですが、これから先も【笑顔の素敵人】であって欲しいと願っています。なかまの皆さんや職員の皆様にも叱咤激励していただきながらこれから先の人生を充実したものにしていって欲しいと思っています。

担当者の一詞

いつもパワー全開の真琴さん。元氣と笑顔をみんなに届けてくださいな。



お仕事頑張ってます

職員のページ

【所属】 ハスの実パン工房
職業指導員

植原 哲平



こんにちは。ハスの実パン工房で働いている植原です。今年で 3 年目になりました。

私は今、新しいパンの作成に力を入れています。季節ごとの新しいパンを仲間や職員と一緒に考えさせてもらっています。多くの案や新鮮なアイデアを貰い作っています。他にも仲間が作ってみたいパンを考えています。難しいところが沢山あり、再現するには時間と技術が必要で大変ですが、楽しんで作っています。新しいパンが出来た時の仲間やお客さんの反応を見ていると、一生懸命作ってよかったと感じることが出来ます。これからも新しいパンを頑張って作っていくので、もし店頭等で見かけた際はよろしくお願いします。

私は緊張しやすく、人前で話す時がある場合や大きなイベント、現在書いているこの記事も緊張しながら書かせてもらっています。そういった時は、手のひらの中央にある労宮と呼ばれるツボを押すと少しだけですが紛らわすことが出来ます。宜しければ緊張しやすい人やあがり症の人は試してみてください。

【所属】 ハスの実わくわくセンター
生活支援員

小島 理恵



小島です。わくわくセンターにお世話になって、アツという間に 1 年が過ぎました。

振り返ってみると、たくさんの行事があつて、あつぷあつぷすることばかりでしたが、今日は行きたくないなあ〜と、思う日が一日もなかった。こんな職場に巡り合えたことに、幸せを感じています。仲間たちと過ごす時間は、私の楽しい学びの時間です。

楽しいとき・嬉しいときは、にこやかに、また全身いっぱい喜び、辛いとき・悲しいときは、そっと静かに、時にはその場を離れ気持ちを整える、大人になると人は感情をあらわにすることもなくなりますが、こんな仲間の姿を見ると、“人は本来こうあるべきなんだよ”と、教えてくれている気がします。

自分の気持ちも大切にして、そっと周りを慮ることができる仲間たち、そうなれた背景には、仲間・家族・職員が培ってきた時間（歴史）があるのだと思います。その膨大な時間を無駄にしないよう、これからも務めていこうと思います。

ならびに 2020 年度当初予算

■ 2019 年度決算報告 ■

収入の部

項 目	2019年度 予 算 額	2019年度 決 算 額	備 考
1. 会 費 ①会費	1,700,000	1,782,000	594口
2. 事業収入	1,450,000	1,422,724	
①資源回収	500,000	191,450	
②物品販売	850,000	1,079,227	
③ミニバザー	100,000	152,047	
3. 寄 付 金 ①寄付金	150,000	99,500	
4. 雑 収 入	30,000	222,031	
①預金利子		31	
②雑入	30,000	212,000	まごころ助成金 192,000 フラワーアレンジ 参加費 20,000
③預り金		10,000	
5. 繰 越 金 ①繰越金	1,933,535	1,933,535	
合 計	5,263,535	5,459,790	

支出の部

項 目	2019年度 予 算 額	2019年度 決 算 額	備 考
1. 助 成 金	2,100,000	2,037,410	
①ハスの実の家	1,000,000	1,300,000	
②資源回収委託費	500,000	191,450	
③機関紙委託費	600,000	545,960	
2. 事 業 費	550,000	688,399	
①物品仕入	550,000	688,399	
3. 活 動 費	290,000	272,870	
①各部経費	40,000	40,000	
②研修等奨励費	100,000	0	
③その他経費	150,000	40,870	
④歌作り合宿費用		192,000	まごころ助成金
4. 事 務 費	60,000	57,753	
①事務費	20,000	8,363	
②振込み手数料	30,000	37,981	
③通信費	10,000	11,409	
5. 雑 費 ①雑費	50,000	10,000	
6. 積 立 金 ①積立金		0	
7. 予 備 費 ①予備費	2,213,535	0	
8. 繰 越 金 ①繰越金	0	2,393,358	
合 計	5,263,535	5,459,790	

貸借対照表

2020年3月31日

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
預 金	3,393,358	積 立 金	1,000,000
		繰 越 金	
		当 期 繰 越 金	2,393,358
合 計	3,393,358	合 計	3,393,358

積立基金管理状況

2020年3月31日

管理状況	金 額	使 途 備 考
福井銀行芦原支店	1,000,000	普通預金
合 計	1,000,000	

ハスの実の会(後援会) 2019 年度決算報告

■ 2020 年度当初予算 ■

収入の部

項 目	2020 年度 予 算 額	備 考
1. 会 費	2,000,000	
①会費		
2. 事業収入	1,450,000	
①資源回収	500,000	
②物品販売	850,000	
③ミニバザー	100,000	
3. 寄 付 金	150,000	
①寄付金		
4. 雑 収 入	31,000	
①預金利子	1,000	
②雑入	30,000	
5. 繰 越 金	2,393,358	
①繰越金		
合 計	6,024,358	

支出の部

項 目	2020 年度 予 算 額	備 考
1. 助 成 金	3,100,000	
①ハスの実の家	2,000,000	
②資源回収委託費	500,000	
③機関紙委託費	600,000	
2. 事 業 費	550,000	
①物品仕入	550,000	
3. 活 動 費	290,000	
①各部経費	40,000	
②研修等奨励費	100,000	
③その他経費	150,000	
4. 事 務 費	60,000	
①事務費	20,000	
②振込み手数料	30,000	
③通信費	10,000	
5. 雑 費	10,000	
①雑費		
6. 積 立 金	0	
①積立金		
7. 予 備 費	2,014,358	
①予備費		
8. 繰 越 金	0	
①繰越金		
合 計	6,024,358	

2019 年度会計監査報告

私たち監査委員 2 名は、2019 年度の会計監査を行いました結果、ハスの実の会(後援会)会計において、帳簿及び必要書類等、会計処理はすべて適正に行われており妥当であることを認めます。

監 査 日 2020 年 4 月 3 日 (金) (年間監査)
 監査場所 ハスの実わくわくセンター
 監査資料 現金出納帳、領収書、預金通帳、収支決算書等

監査委員

杉田 文彦

長谷田 寿

ハスの実の会(後援会) 会長 塩田 照子 殿

ハスの実の会（後援会）2020年度方針

◆ 2020年度方針 ◆

ハスの実の会（後援会）は、ハスの実の家と共に歩み続け、なかまの願いに寄り添った地域社会づくりを目指し活動を進めてきました。

今年度は、ハスの実の家の大規模改修に向けてさらなる発展を期待し、いままでのつながりをさらに強め、そして新たなつながりをつくり、ハスの実の会（後援会）の会員拡大を目指していきます。そのために、各部の動きを大きくしながら、各部同士が連携を密にとり各々がハスの実の会（後援会）の役割を意識できるようにします。そして、なかまたちが地域（まち）の中であたりまえの暮らしができるように、地域に大きなつながりの輪を広げていきます。

◆ 企画部方針 ◆

昨年度までの取り組みを基礎に、会員同士のつながりが深まる活動を続けていきます。

また、今年度は、坂井市にできたグループホーム「美咲」のギャラリー、あわら市住宅街には地域交流スペースを設けた「地域生活支援センター」がオープンします。新たな地域で、ハスの実の家の職員、家族、後援会会員とともに、活動の広がる企画など、人との繋がりを深めていけるよう地盤づくりをすすめていきます。

◆ 組織部方針 ◆

仲間たちの日々の生活や将来の夢の実現をさらに追及するため、ハスの実の家は創立55周年「第3期中期5か年計画」づくりとあわせた事業所整備を進めています。

組織の動きを大規模改修の発展に伴い検討し「世代と時代に合わせた“動く”“伝える”」をキーワードに創意工夫をしながら、更新の維持と新規入会目標100人を目指していきます。そのために、今年度はこれまで以上に関係機関と協力しながら後援会を盛り上げていきたいと思えます。

◆ 事業部方針 ◆

今年度も昆布販売と合わせて海風フェスタで焼鯖寿司の販売を行っていきます。消費税が10%になり値段は高くなりますが、60本の販売を予定しています。

昆布の商品については見直しを行い、少しでも購入

して下さる方のニーズに合わせた販売ができるようにしていくとともに、昆布ギフト用のチラシも様々な行事で配り、多くの人に法事などでも昆布を使って頂けるように働きかけていきます。

資源回収は、今年度も生活介護に委託します。また、後援会や家族会の方にも古紙類等資源を持参していただけるよう告知を行い、資源回収の売り上げを伸ばしていきます。

◆ 広報部方針 ◆

ハスの実の家の行事や各地のイベントに合わせてパネル展示を行い、施設の活動や障害者の暮らしを発信することで、地域の人とハスの実の家の接点を多く作る取り組みを行います。また、秋に開催されるあわら市、坂井市の文化祭にパネルと合わせて仲間の作品を展示できるよう、職員の方と日々の活動の中での作品の保存等を調整していきます。

後援会の活動や企画について、各部や職員の方と情報を積極的に共有し、ハスの実だよりで発信するとともに、ハスの実の家のこと、知的障害のことを知ってもらう場面を多く作ることを目標に活動を展開します。

役員・担当表

会 長	塩田 照子		
副 会 長	富樫 清則	山東 孝子	
運営委員長	野坂れい子		
事務局 長	中村 千草		
	部 長	副部長	部 員
企 画 部	内田悠美子	斉藤 道広	南 美由紀 野田 真士
組 織 部	十佐近さおり	上出日出機	美濃 麻佑 坪内 恵 中村 千草
事 業 部	川崎旨乃布	大久保知枝	斉藤 輝美 斉藤奈生美 吉澤 典代 酒井 隆樹 辻 克佳
広 報 部	有房 諒栄		白崎 美樹
会 計	鹿島 温子		辻 克佳
監 事	長谷田寿子		

2020年度ハスの実の会（後援会）総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面をもって総会の議決とさせていただきます結果、**第一号議案：2019年度事業報告ならびに収支決算書の承認について** **第二号議案：2020年度事業計画(案)および収支予算(案)について** **第三号議案：役員改選について** について賛成多数により承認されましたことをご報告いたします。

今月のにやりホツと

「行動」「障害」と向き合うのではなく、 その人の人格と向き合う

私たち支援員は「問題行動」といわれる行動に対して「なぜか」と答えを求め、問題行動の解消に目を向けがちです。それら是对症療法と言われており、問題行動の本質的な解決には至りません。

今回は利幸さんを例に挙げて話をします。利幸さんの普段のハスの実の家での過ごし方は、いろんなところを転々と歩いて、ふらっと現れ、その場の雰囲気にとけこみ、その場を盛り上げるなど、その場の雰囲気に合わせて過ごされています。いわばムードメーカー的な存在です。利幸さんのハスの実の過ごし方はとても有意義なもので、本人も楽しんで過ごされているように感じます。しかし毎月ハスの実の家のサロンでの散髪ときには、長時間座っていることができず、カットの最中でも嫌になると興奮し、大声をあげ、その場から離れてしまいます。ここで私たち支援員が利幸さんに対して無理に散髪を強いるのは決して良いものではありません。例えば、時には場面を変えてみるのも一つの手立てでしょう。

ある日、のぞみホームの支援員から、「聞いて！利幸さんを地域の床屋に連れて行ったけど大人しくてびっくりした！」と、その職員はすごく嬉しそうにいきいきと、そのことを話してくれました。いつもは、散髪に集中できない利幸さんですが、床屋さんでは鏡を真剣な表情で見つめながら、最後まで座って散髪することができたそうです。では、なぜハスの実の家で散髪するときには興奮しその場から離れてしまっていたのでしょうか。

仲間と向き合うためには、この人はどの発達段階だろうか？この人は今何をどのように捉えているのだろうか？という視点が重要になってきます。この視点を利幸さんに当てはめてみると、ハスの実

の家で散髪をするときでは、「散髪する」という目的は意識していても、視界から得られる情報、今までの経験の中で思っている他の楽しみや目的に意識が向いてしまい、じっと座って散髪をする時間は苦手だったのではないのでしょうか。しかし、地域の床屋さんでは、「おお、ここは散髪をするところなのか」と雰囲気を感じ取り、目的が意識化され今回の姿に繋がったのではないかと思います。

今回の利幸さんからみえた姿は、もしかしたら初めての床屋なので緊張していただけかもしれないし、それは仮の姿であったかもしれません。そのように時と場合と状況によって、「答え」はいつでも変化します。それに柔軟に対応していくことが支援員には求められているところであり、支援の面白さなのかなと思います。

共同生活援助事業 主任 阿部 晃三



「新型コロナウイルス感染予防」をとおして考えること



ちょうど3月から4月のはじめに、全国紙、地方紙2つの新聞社から取材を受けるチャンスを受けました。テーマは「障害者福祉施設における新型コロナウイルス感染予防の現状と課題」でしたが、「東日本大震災の時もそうであったように、ひとたび大災害や今回のように不測の事態が起こった時に、日本という国（社会）の成熟度が試される。」と初めにお話しました。

被災した東北3県では、他の人の2倍もの障害のある人たちが亡くなりました。

障害のある人たちにとって「新型コロナウイルス」が、解りやすさに配慮された情報の提供、優先的なPCR検査の実施、医療体制の確保、そして身近にある支援体制の確立、社会的就労と言われ雇用契約を必要とされない彼らの「働く」が、正しく評価される所得保障制度の確立など、それらの不備によって今回もまた深刻な不利益を強いてはいないでしょうか。亡くならなくてよいいのちが、しっかり守られる仕組みはあるでしょうか。新たな貧困や格差は広がっていないでしょうか？差別や排除はうまれていないでしょうか？

国の不明確な指針のもとで

ちょうどこの頃、県内でも全国でもオーバーシュートが言われ始め、我が法人もまた徐々にその影響は及んでいました。県も地元市も私たちの置かれている状況を真剣に受け止め、解決のための行動や検討をしてくださいました。しかし国による先のように明確な指針が示されない中で、結局、障害のある人たちと家族、私たちの自己責任にのみギリギリの選択が迫られるのでした。

在宅支援において感染リスクが高まる中、「もう仕事に行かないで」家族にそう言われ、それでも「私が行かなかったら障害のある人の命と暮らしを守れない」と苦悩するヘルパー。自粛となったホーム勤務に選任された職員の不安と更なる現場での人員不足。休校措置により子どもも同伴勤務を可能にしたり託児所を設けたりするのも、結局のところ事業報酬の削減が引き起こす慢性的な人材不足など、国の施策そのものの影響なのだと思えます。

社会保障制度の市場化、営利化は必ず人権と対立

今日、ようやく福祉・医療の大切さ、社会的インフラとしての役割が見直されようとしています。「新型コロナウイルス感染拡大防止」のあらゆる困難は、例えば国が率先して全国の病床を減らし続け、2025年までには更に33万床削減する計画であることも、30年前には全国に約852か所あった保健所が昨年度472カ所に減ってしまっていたことも、社会保障制度が市場化のもとで大きく変節をしてしまっていることも、学校の教職員不足が今本当に深刻であることも、いま多くの人が肌身をもって、いや実感として「何かおかしい」と気づき始めている証なのだと思うのです。

折しも、資金繰りに苦悩する中小企業などに一刻も早く支給されるべき持続化給付金をめぐり、政府が業務委託した団体に事務手数料のうち20億円もの不正なお金が中抜きされたという新たな疑惑が報じられています。この国（社会）は、いま成熟度どころか脆弱へと逆行していたのです。社会保障制度の市場化、営利化は必ず人権と対立します。改めてそう思います。

要望行動は県や市町を励まし後押し、あるべき社会保障の方向性を照らす。

5月のはじめ、数年ぶりにきょうされん、知的障害者福祉協会など県内5団体が共同で、県と17市町に対して緊急要望書を提出しました。ハスの実の家の労働組合も4月に単独で、更に6月の初めには県内障害者施設内労働組合と共同で、同じく緊急要望書を提出しました。どれも本当に大きな成果だと思います。これらの行動が、感染拡大防止の最前線で奮闘する県や市町を励ましあと押し協働しながら、我が国の社会保障制度のあるべき方向性、「何かおかしい」を解決すべく少しずつ照らしだしているのだと確信しています。

物品深謝

4・5月

順不同お許しください

サブラ様、鈴木紀子様、わかすぎ歯科クリニック様、
畑 数尋様

ご寄付深謝

4・5月

順不同お許しください

ハスの実の家
匿名様 59,921 円
ハスの実の会（後援会）
勘座春子様、谷口昭子様、亀田和子様、杉山薫様
8,000 円

退職のお知らせ

- 平馬夢加さん 世話人
- 篠塚美幸さん 支援員
- 畦地幸恵さん 支援員

牛乳パックの回収を行ってあります

紙すき班では、紙すきに使用する牛乳パックの回収を行ってあります。

ご家庭にある牛乳パック是非お持ち下さい。

担当 わくわくセンター 紙すき班

シーツ、古着等お譲り下さい

わくわくセンターでは仲間の仕事としてウエス（油拭き布）製造を行っています。

ご家庭で使わなくなった生地（綿 100%）がございましたらぜひ、お寄せ下さい。

ウエス生地の販売

消毒やお掃除、工場などで使うウエスを 1 kg 300 円で販売しております。ご要望の際にはご連絡下さい。

担当 わくわくセンター 橋本

継続会員・新入会員の皆様です。
ありがとうございます。

4・5月度

*印は新入会員の皆様です。順不同、敬称略。

あわら市 山岸美千子・橋川久仁子・高山紀子・山口光治・西山政信・
斉藤 歩・米村卓治・斉藤和子・小泉マサ子

坂井市 斉藤輝美・斉藤奈生美・斉藤道広・野坂れい子・野坂麻美己・
伊藤新一・釣部喜代子・森瀬しげ子・リビングいづみ・勘座春子・
加藤 剛・近藤弘美・近藤益子・*斉藤 望・*小玉順子・
*松川敏恵・*木村憲治・堀崎達男・杉山 薫・高倉千賀子・
水上聡子・榎かどじゅう・友田美知代

福井市 高川勝彦・*正木宏和・堀江龍男・野口康義・中村義勝・
上坂鈴子・上坂 勇・堀 邦義・土本美智子・岸下由美子・
（株）フジマック福井営業所・*福井調理機株式会社・平田英樹・
株式会社アルマック 代表取締役 天谷賢作

越前市 山崎昭彦
南越前町 橋本栄八
富山県 定塚芽輝
大阪府 亀田和子
神奈川県 伊藤彰徳
京都府 藤本文朗
香川県 小西 薫

ハスの実だより
あとがき



ハスの実だよりの作成に携わり、一年が経過しました。最初は苦手な分野を任せられ不安だらけでしたが、読者の皆様の声を励みに頑張ってこられました。もっとこうの方がいいんじゃない？というご意見あればどしどしお寄せください。

阿部 晃三

社会福祉法人
ハスの実の家

- 法人本部 理事長 櫻井 康宏
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
Eメール: honbu@hasunominoie.com
- ハスの実の会(後援会)事務局(法人本部内)
Eメール: kouenkai@hasunominoie.com
- 共同生活援助事業
 - *「のぞみ」「あおぞら」「あかつき」「ステップハウス」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
Eメール: allhasunomi@hasunominoie.com
 - *「美咲ホーム」
〒913-0058 福井県坂井市三国町新宿2丁目2-18
電話・FAX(0776)97-8511
 - *「空と海」
〒913-0057 福井県坂井市三国町米ヶ脇1丁目4-3
電話・FAX(0776)81-4746
 - *「友歌里」
〒919-0628 福井県あわら市大溝3丁目15-17 102
電話・FAX(0776)73-3129
 - *「希陽(こはる)ホーム」
〒919-0628 福井県あわら市大溝2丁目25-1
電話・FAX(0776)73-5203
- 生活介護事業
 - *「のびのび広場」「はつらつ広場」
- 就労継続支援B型事業
 - *「わくわくワーク」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-19
電話(0776)78-7750 FAX(0776)78-7751
Eメール: wakuwaku@hasunominoie.com
 - *「ハスの実パン工房」
〒919-0621 福井県あわら市市姫1丁目608-2
電話(0776)73-7300 FAX(0776)73-7301
Eメール: pankoubou@hasunominoie.com
- 地域生活支援センター ハスの実
 - *「相談支援事業所 ハスの実」
 - *「ハスの実ヘルパーステーション ともに」
 - *「まちなかホーム事務所」
〒919-0628 福井県あわら市大溝2丁目25-1
電話(0776)73-3100 FAX(0776)73-3122

ハスの実 読者クイズ

気がつけば衣替えの時期、今年は春を飛び越えいきなり夏へと進む季節を感じています。では今月も恒例の

ハスの実 読者クイズ

第6回は新事業所からの出題です。

あわら市大溝の地域で5月から開設された建物の名称は

「地域生活支援センター

○ ○ ○ ○」

4文字でお答えください。

それでは○の中に入る答えを書いてどんどんご参加お待ちしております。確率高いですよ。

応募方法

はがきか Mail(honbu@hasunominoie.com) にクイズの答えと住所・氏名・連絡先を記入の上ご応募ください。締切りは7/20(当日消印)。

正解者の中から抽選により3名様にハスの実の家オリジナル商品をプレゼント。ふるってご応募ください。



第5回読者クイズの答えは「みさき」でした。ご応募いただいた方の中から福井市のKさん、坂井市のTさんに商品を発送させて頂きました。

★こちらを読み取って
ハスの実FBに
アクセスしてね!!

